

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

町田市立相原小学校

3年1組 25名

指導者 植田 大智

1 単元名 「かいこはかせになろう」

2 単元目標

蚕を育てたり、糸を取ったりする体験を通して蚕の生態や役割について理解し、どのように蚕を活用できるかを考え、学んだことを生活や地域に生かすことができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①蚕の生態や活用について理解している。 ②蚕についてテーマに応じて方法を考えて調べることができる。 ③課題の解決に必要な情報を取捨選択してまとめている。 ④蚕の活用方法を考え、実践できる。	①蚕について課題を設定し、解決の方法の計画を立てている。 ②課題の解決に向けて情報を集める手段を考えている。 ③蚕の生態や人、地域との関わりについて相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現している。 ④蚕の育成を通して蚕のよりよい活用について考えている。	①蚕について関心をもち、探究的な活動を通して課題を解決しようとしている。 ②他者の意見を取り入れながらよりよい考えを見つけたり、受け入れたりしている。 ③自分と蚕や地域との関わりに気づき、地域のためにできることについて考えている。 ④これまでの活動を振り返り、学習したことや気づいたことについて自分の成長を振り返っている。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

町田市は昔から蚕との関わりがあり、現在でも生糸や織物を運んだとされている「絹の道」や石の色の変化で蚕を孵化させる準備が整ったことが分かると言われる「蚕種石」が残っている。そこで、実際に蚕を育てる活動や蚕についての調べ学習を通して、蚕に対する関心を高めるとともに、その歴史や生態に目を向けることで蚕を育てることの有用性について考えさせたい。また、地域の一員として育てた蚕をどう活用していくかを調べ学習で広げた知識から考えていくことで、思考を深めていくことができるのではないかと考えこの単元を設定した。

(2) 児童の実態

理科の学習では、中央公園で生き物の様子を調べたり、チョウの幼虫を育て観察したりする活動をし、関心高く学習することができた。そこで、同じく生き物であり相原とも関わりの深い蚕を題材とする。主体的に調べたり、グループで意見を共有したりすることで互いに高め合えるような力を育成していく。

(3) 校内研究との関わり

①単元を通して学び続ける学習活動の設定

地域との関わりを通して「学び続けたい」と思えるように単元計画を作成した。蚕について調べたり、育成したりすることで疑問や新たな課題を見出す「かいこはかせになろう①」と①で出した疑問や課題を体験的に学習しながら深めていく「かいこはかせになろう②」に分けることで児童が課題に向き合い、探究的な学習を行うことができると考えた。

②学び合うためのICT機器の活用

児童の学び合いの活性化を行うためには互いの意見を共有しやすく必要があると考えた。そこで「Canva」を活用し他テーマのグループも確認することができるようにした。

③高め合うための対話的活動の設定と思考ツールの活用

児童が対話的活動の中で新たな課題や発見を行うことができるようにジグソー学習を取り入れた。同じテーマで調べた班から分かれ、「パズル班」として新たな班で話し合うことで児童が新たな視点で課題に向き合うことができると考えた。

5 指導計画・評価計画

かいこはかせになろう①（全10時間）

時間	小単元の目標 ①主な学習活動	重点評価規準 【評価の観点】	他教科との関連 思考ツール
1	課題をもつ ①かいこについて知り、調べたいことを話し合う。 ・動画の視聴をする。 ・ウェビングマップにまとめる。 ・調べたいことが同じ人で班をつくる。	・蚕について課題を設定し、解決の方法の計画を立てている。 【思・判・表】 ・蚕について関心をもち、探究的な活動を通して課題を解決しようとしている。【態度】	思考ツール 「ウェビングマップ」
2～3	調べる ②テーマに沿って調べ学習をする・ ・班で決めたテーマに沿って調べる。 【インターネット・インタビュー・本】	・蚕の生態や活用について理解している。【知・技】 ・課題の解決に向けて情報を集める手段を考えている。【思・判・表】	
4～5	まとめる ③調べたことをまとめる。 ・調べたことをスライドにまとめる。 ・他のグループに伝えるために練習をする。	・課題の解決に必要な情報を取捨選択してまとめている。 【知・技】 ・蚕の生態や人、地域との関わりについて相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現している。【思・判・表】	国語「仕事のくふう、見つけたよ」

6～7	共有する・観察する。 ④各班に分かれて蚕についてわかったことを共有する。 ⑤かいこを育てて、観察しよう。 ・卵～繭までの観察を行い、観察カードにまとめる。	・他者の意見を取り入れながらよりよい考えを見つけたり、受け入れたりしている。【態度】	理科「生き物を調べよう」
8～9 (本時)	新たな課題をもつ ⑥蚕と相原を関連させて考える。 ・視点 「人・物・事」	・他者の意見を取り入れながらよりよい考えを見つけたり、受け入れたりしている。【態度】 ・蚕の生態や人、地域との関わりについて相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現している。【思・判・表】	思考ツール 「ピラミッドチャート」
10	まとめる ・学習のまとめ、振り返りをする。	・これまでの活動を振り返り、学習したことや気づいたことについて自分の成長を振り返っている。【態度】	

かいこはかせになろう②（全10時間）

1～2	課題をもつ ①「かいこはかせになろう①」で話し合ったことから今後の活動について話し合う。 ・何をするか。 ・方法 など	・自分と蚕や地域との関わりに気づき、地域のためにできることについて考えている。【態度】 ・蚕の育成を通して蚕のよりよい活用について考えている。【思・判・表】	思考ツール 「熊手チャート」 「ステップチャート」
3～8	体験する（ゲストティーチャー） ②蚕についての話 ③糸取り体験 ④まゆ人形作り	・蚕の活用方法を考え、実践できる。【知・技】	
9～10	まとめる ⑤活動を振り返り、まとめる。	・蚕の生態や人、地域との関わりについて相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現している。【思・判・表】	

6 本時の学習活動

(1) 目標

- ・思考ツールを用いた話し合いを通してそれぞれの考えを表現することができる。

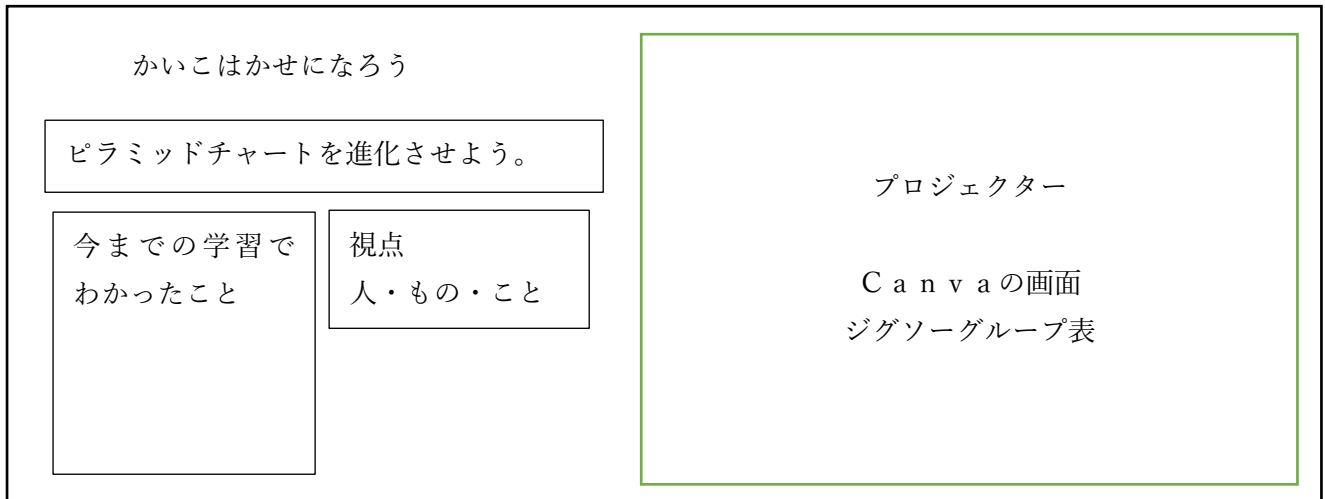
(2) 展開 (9/10時間)

	○学習活動	△予想される児童の反応	◇留意点・支援 ☆評価
	<p>○これまでの学習の振り返りをし、今後の活動に見通しをもつ。</p> <p>○本時のめあての確認をする。</p>	<p>△蚕はもうすぐ繭になるね。</p> <p>△このあとはどうするの。</p> <p>△糸取りしてみたいな。</p>	
	ピラミッドチャートをより進化させよう。		
	<p>○調べ学習グループに分かれて話し合う。</p> <p>・班に分けて調べた資料をもとに視点に基づいて話し合う。</p> <p>視点 人 もの こと</p> <p>○ジグソーグループに分かれ、できることを考える。</p> <p>○全体でそれぞれの班の話し合ったことを確認する。</p>	<p>△昔は蚕を運ぶ道があったみたいだよ。</p> <p>△今僕たちは蚕を育てているね。</p> <p>△来年の3年生も蚕を育てるのかな。</p> <p>△蚕種石も相原にあるね。</p> <p>△繭を使って何かできないかな。</p> <p>△繭人形ができるよ。</p> <p>△成長の様子を次の3年生に残そう。</p> <p>△作ったものを飾ってもらえないかな。</p>	<p>◇伝えられない児童がいないようにグループ分けを配慮する。</p> <p>◇思考ツールを活用する。</p> <p>◇ジグソー学習を行い、他のグループと意見を交流できるようにする。</p> <p>◇話し合った内容をC a n v aにまとめていく。</p> <p>☆他者の意見を取り入れながらよりよい考えを見つけたり、受け入れたりしている。(発言)</p> <p>・それぞれのチャートを確認させる。</p>
	○まとめ、次時の確認		◇本時の学習について振り返り、次時へつなげる。

（３）協議会の視点

- ・ジグソー学習は高め合うための対話的活動として効果的であったか。
- ・ＩＣＴ機器の活用は学び合いを活性化させるのに効果的であったか。

（４）板書計画



【成果と課題】

成果

- ・教師・児童のＩＣＴの活用技術が向上した。
- ・同時編集が可能なＣＡＮＶＡを使用したことで共同的に学ぶ姿勢をもつことができた。

課題

- ・ＩＣＴや思考ツールありきの授業になってしまっていた。あくまでもめあてを達成するための手段として用いるようにしていく必要がある。